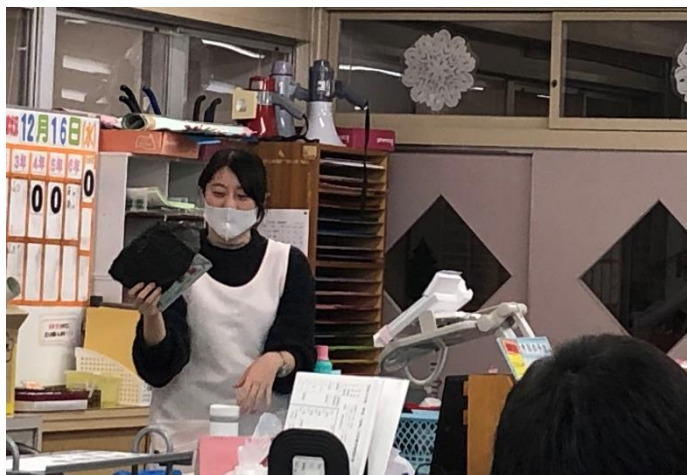


職員研修を行いました！

日頃の新型コロナ予防がよい影響を与え、今年はインフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症の流行が全国的に落ち着いているようです。

そんな中、先日、職員を対象に嘔吐物の処理について研修を行いました。



各クラスに
嘔吐物用の袋も配布しています。

嘔吐物処理では、感染を広げないことはもちろん、自分が感染しないことも大切です。今回は、処理の手順だけでなく、使ったエプロンや手袋の外し方のコツもお伝えしました。



手袋の表面は素手で触りません。
先に脱いだ手袋を包み込むように
して内側が外になるように
外します。

今年は感染症の流行が少なく、改めて手洗いやマスクの大切さをこの新型コロナを通して実感しました。今日も富来小はかぜ欠席ゼロです。2学期も残り少し、感染予防を工夫しながら子どもたちの健康を守っていきたいと思います。